

エコが千代田の自慢です!



CES 通信

Vol.2 2019 冬号

千代田のエコを推進しよう!



2018年9月14日(金)

『環境エネルギー講演会』を開催しました。

本講演会は、弊会、秋山副理事長の尽力により、開催の運びとなりました。

講演会の目的は、2015年のパリ協定締結を受けて、より一層の温室効果ガス削減が求められている現在、パリ協定締結の背景、また、昨年7月に閣議決定された「第5次エネルギー基本計画」の背景と、環境とエネルギー政策について、国の責任のある方を講師に招いて開催することになりました。

第1部は、環境省総合政策局長・環境事務次官を経て16年間の豊富な実務経験のある、中川雅治環境大臣(講演会当時現職)による「地球温暖化対策の現状



中川雅治前環境大臣

と課題」のテーマで行われ、ご自身の経験を通じての親しみやすいお話しは、参加者への満足度が高い講演となりました。

第2部は、資源エネルギー庁で実務をご担当されている、エネルギー・新エネルギー部長松山泰浩氏に「第5次エネルギー基本計画と政策展



資源エネルギー庁 エネルギー・新エネルギー部長 松山泰浩氏

開について」のテーマで、お話しをしていただきました。

実務担当者として、パワーポイントを使用した視覚的にも、参加者にわかりやすく興味深い解説は、予定時間がすぐ経ってしまった感がありました。

現職の環境大臣と、資源エネルギー庁の実務担当部長をお招きしての本講演会は、盛況裡に幕を閉じました。

—詳細はHPをご覧ください—

- ・会場:日本教育会館 8階 第2会議室
- ・参加者数:128名
- ・後援:環境省、資源エネルギー庁

速報

一番町笹田ビル地中熱利用システム見学会 報告

2018年12月13日(木)、16日(日)、17日(月)の3日にわたり、CES協議会個人正会員でもある、NPO法人地中熱利用促進協会、笹田理事長ご協力のもと、笹田ビル地中熱利用システム見学会を開催し、合計26名の方が参加、皆さん熱心に説明を受けました。

建物は1990年竣工、敷地100㎡、縦横約10m四方の5階建。2008年に、車2台分の駐車スペースの地下へ、75mの地中熱交換器を2m間隔に8本埋設し、ヒートポンプを屋上に設置。現在ビルの1~3階まで、約300㎡の冷暖房を行っており、システム

導入前と比べ電力消費量を49%削減したそうです。

笹田氏によると、都市部における再生可能エネルギー利用は、太陽光発電と地中熱利用の限られた選択肢であるとのことでした。

再開発が進む千代田区では今後、地中熱利用の更なる普及促進が望まれます。



笹田理事長より地中熱利用システムの説明を受ける参加者

VOICE 01

CES監査員活動をとおして 思うこと

むぐるま きみこ
CES監査員 六車 貴美子

気候変動・地球温暖化防止のため、「環境配慮行動」という言葉が一般的になり、私たち個人向けに省エネや3R活動などの声掛けがされています。その企業版が、千代田区のCESクラスⅢではないかという思いで、監査に携わらせていただいています。

事業所は、それぞれの事業所にあった環境配慮行動が何かを考え(PLAN)、実施し(DO)、それが目的通りに行われているかをみる(CHECK)、それを次の環境配慮行動につなげる(ACT)という「PDCAサイクル」を回していきますが、私は、このうちの「C」の担当です。

監査していると、他でも真似してほしい素晴らしいところがあります。監査はダメ出しをする役回りではなく、良い行動が長続きするようサポートしていくものと思っています。



自然を守りたい気持ちが監査に繋がりました

VOICE 02

大塚商会は社業を通じた 環境保全活動を推進しています

株式会社大塚商会

大塚商会は、環境の国際規格であるISO14001を2000年に取得し、環境マネジメントシステムをベースとした環境保全活動を行っています。

これまで実施してきた主な施策としては

- ①事務所PCをデスクトップからノートPCへ交換
- ②事務所ビルやホテルの照明のLED化の推進
- ③社内使用サーバーの仮想化
- ④BEMS(※)システムによる消費電力の見える化
(※)BEMS=Building and Energy Management Systemの略
- ⑤独自のリサイクルセンターを開設し、不要品等の資源の有効活用(リサイクル率98%以上実現)
- ⑥ブラジル・マカパの土地に「たのくんの森」と名付けた植林を実施。2018年からこの植林木を使用したコピー用紙の限定販売を開始。

こういった社内の活動が一段落した現在は、社内で活用した結果、その効果の確認できた環境商材の拡販に努めています。

大塚商会は環境商材の普及促進で、今後も社会に貢献してまいります。



ブラジル・マカパの「たのくんの森」

MEMBER'S VOICE

CES会員の皆さまよりの声

このコーナーでは、環境への取り組みや日々感じたことなど、エコに関する皆さまの声を掲載してまいります。

VOICE 03

食から広がるエコ & 癒しの食育活動を実践中!

大妻女子大学食育ボランティアグループ「ぴーち」 堀口 美恵子

「ぴーち」は食を通じた幸福感の共有を目的として、栄養・運動・休養の面から健康づくりを支援する活動を行っています。また、東日本大震災復興支援の一環である「三陸の和ぐるみプロジェクト」を応援しています。

例えば、「ハーブで生活空間を豊かに～五感でハーブを楽しみましょう～」というイベントでは本学ハーブ園のハーブを活用した調理実習とポプリやスワッグ作りを、「和ぐるみ丸ごと体験会」では避難所仕切りに用いた段ボールと和ぐるみ殻で仕上げるカスタネットによる健康リズム体操 & 三陸食材の手まきごはん交流会を、「エコ&サイクルフェア」では檜の間伐材削りカスをみかんの皮などで染色したガーゼで包んで仕上げるコサージュ作り等を行いました。

今後も、エコな癒しのクラフト作りを取り入れた食育活動を行っていきたいと思います。



みかん・ぶどう・玉ねぎの皮、和ぐるみ果肉等で染色した布で仕上げた小物入れ

VOICE 04

「千代田区高齢者サポートセンター」における低炭素対策事例

株式会社ユニパック

当社は業界で使い捨てが常識とされてきたビル空調用高性能フィルタにおいて、炭素量を50%に減らす「洗浄再生フィルタ(新品使用後、3回再利用)」を製品化し、東京ミッドタウン・羽田空港・日本橋三越等で実績を上げてきました。中でも「千代田区高齢者サポート施設/九段坂病院」では、同上フィルタが全面採用され、フィルタ購入費削減・消費電力削減・人件費削減に貢献することができました。SDGsの世界的な潮流のなかで首都東京を代表する千代田区の御英断と先見性に深く感謝申し上げます。2030年までにビル事業者は40%の低炭素化が要される今、大きな指標になると期待しております。



問い合わせ先

株式会社ユニパック 東京支社

〒100-6005 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞ヶ関ビル5階

TEL 03-4334-8084 FAX 03-4334-8085

http://www.unipac.co.jp/

千代田エコシステム監査・認証(クラスⅢ)において 2団体が表彰されました

2018年9月11日(火)に開催された認証委員会で、千代田区の関連施設78カ所と、障害者福祉センターえみふる・内幸町ホール(いずれも指定管理者がCES活動を行っている区立施設)のCES監査結果に対する審査と認証が行われました。また「ふじみこども園」と「九段小学校」の2カ所については、CES活動への取り組みが高く評価され表彰対象施設として判定されました。

表彰対象施設として推薦される際の基準は、監査結果が優良であることに加え、CESの活動に工夫や努力が



記念品(素材:胡桃材)

見られ、他の事業者の模範となる取り組みをしている施設であることなどがあります。それらを全てクリアした部門が表彰対象として推薦されます



「九段小学校」
左:竹内とも子教諭
右:CES山田副理事長

「ふじみこども園」
中央:糸原淳子園長
左:杉山静霞保育士
右:CES大森理事長



が、CES推進協議会が2016年に法人化されて以来、初めての表彰対象の選出となりました。

12月上旬に対象施設を訪問し、当協議会の大森理事長、山田副理事長より記念品の贈呈を行いました。

ふじみこども園の表彰ポイント

- ・不審者侵入時の対応や災害発生時の職員配置など緊急対応マニュアル等を作成し、さまざまなリスクに対して準備をしている点。
- ・CESの活動に対し、実績の報告だけでなく改善点を提案するなど、積極的な取り組みの姿勢がみられる点。
- ・手作りのイラストカードなどを使い子どもたちにわかりやすく給食を残さない食育指導をしている点。

表彰当日は、牛乳パックやペットボトルを再利用して、子どもたち自身が、使用する椅子やおもちゃを作り、遊びながらエコ活動を学べる環境作りを心がけるなど、日々の生活に密着した環境活動をしていることが印象的でした。

九段小学校の表彰ポイント

- ・さまざまな授業と地域活動が連動し、学年に合った環境教育を行うなど独自のCES活動が実現されている点。
- ・きめ細かく環境情報が記録され学校・児童・家庭・地域社会・企業・大学との連携を図ることで、エコ推進の活力源となっている点。
- ・CES活動報告書が細かく分析されており、模範となるレベルである点。

担当監査によると「監査当時は、本校舎が建て替え中の為、仮校舎であったにもかかわらず壁面に朝顔でグリーンカーテンを作るなど、教職員方の省エネに対する意欲が伺えた。」とのことでした。

理事長
だより

2018年後半 CESの三題噺

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 理事長 大森 正之

2018年後半の特筆すべきイベントは、9月14日(金)夕刻開催の「環境エネルギー講演会」に現職の中川雅治環境大臣(当時)と資源エネルギー庁の省エネルギー・新エネルギー部長、松山泰浩氏をお招きしたことでした。秋山利昭副理事長の尽力により開催にこぎつけました。大臣の講演で印象深かったのは、欧州での国際会議の場で、しばしば環境NGOから「化石賞」を贈られる話でした。日本企業は、化石燃料による発電に多額の投融資を行っているからだそうです。

12月3日(月)午前には、ふじみこども園を訪れ、クラスⅢ活動での優れた業績をたたえ、糸原淳子園長先生

に記念の木製の楯を贈呈し、いっそうの協力をお願いしました。CESの環境マネジメントによる電力や水の削減データが職員室の壁に貼ってあり、情報の共有の努力に感激しました。

12月7日(金)午後には、日経新聞主催のエコプロダクツ展の会場で、CESの養蜂事業に対して、アサヒグループホールディング社「アサヒワンビールクラブ」から寄付金20万円をいただきました。他団体の社会貢献活動を支援する社員有志の、毎月1口200円の積み立が原資です。ありがとうございます。



「活動・講習会」報告

12月9日(日)9時、富士見区民館に養蜂ボランティアの有志の方々に集まいただき、採取したハチミツを小瓶に詰め替える作業を行いました。瓶と蓋を煮沸消毒し、冷えて固くなったハチミツを温めて、柔らかくしてから計量カップに移し、手作業で小瓶に流し込み、オリジナル

のラベルを貼り約200個ほど作りました。詰めたハチミツは、会員の方にお配りしております。

午後は、養蜂担当理事の松沢友紀氏による1年間を振り返っての養蜂講習会があり、また次年度以降の活動方針についても説明がありました。出席した会員の方々より、ご意見・ご要望を寄せていただきました。



TOPICS 12月7日(金)「アサヒワンビールクラブ」様から寄付金を頂きました!

この度、当協議会へ20万円の寄付金を、養蜂活動資金として頂きました。きっかけは、弊会養蜂担当理事の松沢氏が、仕事を通じてかねてより親交がある、アサヒグループホールディングス株式会社「アサヒ森環境保全事務所」の松岡所長へ

弊会養蜂プロジェクト活動の説明をし、寄付先団体として推薦されたことです。その後正式に寄付が決定し、エコプロ2018の会場で弊会大森理事長が寄付金を受領いたしました。アサヒワンビールクラブの皆様、ありがとうございました。

イベント報告① 「環境配慮宣言」キャンペーン参加店による「くじ付きうちわ」配布終了

節電やゴミの減量など、日常的なCO₂排出量削減を目的に「環境配慮宣言」に取り組んでいる、個人事業主の皆さんが頑張ってください、配布した「くじ付きうちわ」の景品は、大変ご好評をいただきました。ご寄付を頂戴した、株式会社大塚商会様、大塚製薬株式会社様、有難うございました。次年度も一緒に、千代田区のCO₂削減に取り組んでいただけますよう皆さまの、ご参加をお待ちしています。ご協力いただいた、

お店には「環境ステッカー」が貼ってありますので、お店にいらしたら探してみてください。

《参加店舗》 旭軒、朝日電機商事、アジアパルフログス神田店、淡平、いく代寿司、伊呂波、越後屋、オギムラ薬局、お台所泉、オフィスKらーめん海人、からだ工房、神田丸屋、カーサノーヴァショップ、桔梗屋電機、巨牛荘、香文堂、ゴンドラ、コーヒー専門店エース、佐々木商事、さらりーまん割烹千寿、昭和薬品神田西口本店、寿々木、宿場、2×3スリーレック、トニーローマ、ドラッグセンターマツイ、TeaHouseTAKANO、ファントムAKIBAラジ館、文銭堂、ベンガル、HoneyHoney秋葉原店、VAULT COFFEE、宝来屋、ミツ木園、もじ焼き、RoseCrown 以上36店



イベント報告② 12月1日(日)「エコ&サイクルフェア2018 千代田のエコ自慢」開催報告

毎年ご好評をいただいている千代田区との共催イベント。今年も多くの方に、ご来場いただきました。「リメイク着物を着てのファッションショー」「エコで災害時に役立つカッター折り」「廃材活用のアロマフラワー作り」「生ハーブ石鹸作り」「毛糸でX'masオーナメント作り」などのワークショップや恒例の

「子ども服交換会」「環境クイズ」では、楽しみながらエコに触れていただき、「CES養蜂プロジェクト」「地中熱について学ぼう」「フィルム剥がしてリサイクル」「独自の環境マネジメントシステム」「食品ロス削減のエコカー」など、さまざまな展示にも関心をお持ちいただきました。



イベント報告③ 「大都会の中のマイクロワールドを観察しようー夏の巻ー、ー秋の巻ー」開催報告

国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」よりの助成で、千代田区内の小学生を中心に公募をし、毎年テーマを変えて開催しています。昨年は夏の巻、秋の巻を日比谷公園・日比谷

図書文化館で開催しました。詳細は千代田区と共催発行の「エコチヨVol.8」またCESのHPにて。楽しくスマホ顕微鏡を使用し感動している様子が写真と共に掲載されています。

※イベントの予定・詳細は決まり次第HPにてご案内します。イベントへの参加、または、サポートボランティアとしてスタッフ体験をご希望の方は、HPで詳細をご覧ください。お電話にてお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加、お待ちしております。



Vol.2 2019 冬号

発行・編集：(一社)千代田エコシステム推進協議会
発行日：2019年2月15日

(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所：〒102-8688

千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階

電話：03-5211-5085 FAX：03-3221-3405

メール：info@chiyoda-ces.jp

URL：https://chiyoda-ces.jp

